

# 令和元年度第 1 回大分県スポーツ推進審議会 説明資料

- |   |                              |         |
|---|------------------------------|---------|
| 1 | ラグビーワールドカップ 2019 日本大会大分開催の成果 | 1 ~ 2   |
| 2 | 今後のスポーツによる地方創生について           | 3 ~ 4   |
| 3 | 昭和電工武道スポーツセンターの利用状況          | 5 ~ 8   |
| 4 | 児童・生徒の体力の現況と学校運動部活動を取り巻く状況   | 9 ~ 10  |
| 5 | 総合型地域スポーツクラブの現状              | 11 ~ 15 |

# ラグビーワールドカップ2019日本大会大分開催の主な成果

## 【ラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成】

- 世界のラグビーファンとともに、多くの県民が世界最高峰のプレーに触れ、心からラグビーを楽しんだこと
  - ・国内外から試合会場に5試合で約17万3千人が来場
  - ・ファンゾーンに14日間で約11万5千人が来場
- 県民のホスピタリティは観戦客等から高い評価を得て、心を一つにして大会を大成功に導いたことは、大きな自信と誇りとなったこと
  - ・大会ボランティア（約1,350人）のおもてなし
  - ・中学生・特別支援学校中学部生が作成したウェルカムカード（約1万7千枚）を配布 等
- 品位・情熱・結束・規律・尊重というグローバルなラグビー精神の価値観を体感できたこと
  - ・県内の子どもたちが試合観戦
  - ・来県チームとのラグビー交流 等
- 別府市で県内初の中学校拠点型ラグビー部が創設されたこと



試合会場で観戦を楽しむ観戦客



別府市で中学校拠点型ラグビー部創設

## 【海外との継続的な交流】

- スタジアムやイベントスペース、ホテル・飲食店で、おおいた和牛や乾しいたけ、養殖クロマグロ等の県産食材を使用した食を多くの海外観戦客等が味わったこと



大分県版フィッシュ&チップスの販売ブース

## 【海外との継続的な交流】（続き）

- 食や文化等を通じた国際交流を行ったこと
  - ・青年会議所等がウェールズの伝統的な料理やお酒を提供するウェールズパブを大分・別府両市内6箇所で開催
  - ・大分市内でウェールズの生産者や流通関係者がウェールズ産ラム肉の試食会を実施
  - ・ウェールズ友好交流 The Art of Wales展（講演、ハーブ演奏、ダンスパフォーマンス等）を大分県立美術館（OPAM）で開催 等
- 国際理解の促進が図れたこと
  - ・海外と県内学生同士の交流やトップリーグ選手との遠隔交流授業
  - ・ラグビーに関する副教材（小学校5・6年）の活用
  - ・来県国のメニューを取り入れたラグビー給食 等



ウェールズパブ

## 【海外誘客（インバウンド）の多角化】

- 県内各地の観光・宿泊施設、飲食店等が欧米・大洋州をはじめ多くの海外観戦客の受入を経験し、海外市場を身近に意識したことにより、県全体でインバウンド多角化の機運が醸成されたこと
- 宿泊施設、飲食店、商業施設等観光関連事業者から売上が増えたとの声があり、観戦客等による消費増で県内経済に好影響を与えたこと
- 欧米・大洋州からの10月の県内宿泊者は、前年同月比で12.1※倍に増加し、また、多くの欧米・大洋州の方が農泊を利用（189人泊）  
※観光庁「宿泊旅行統計調査（速報値）」より
- 観戦客等が大分市、別府市のみならず、県内各地に足を伸ばし、大分の魅力を満喫したこと



海外観戦客で賑わう大分市街地



地獄蒸しを楽しむ観光客



# スポーツによる地方創生

## スポーツの可能性

「人生」  
が変わる！

スポーツで人生を健康で生き生きと

「世界」と  
繋がる！

多様性を尊重する世界  
持続可能で逆境に強い世界  
クリーンでフェアな世界 に貢献

スポーツが  
変える・  
未来を創る

「社会」を  
変える！

経済・地域の活性化  
共生社会, 健康長寿社会の実現

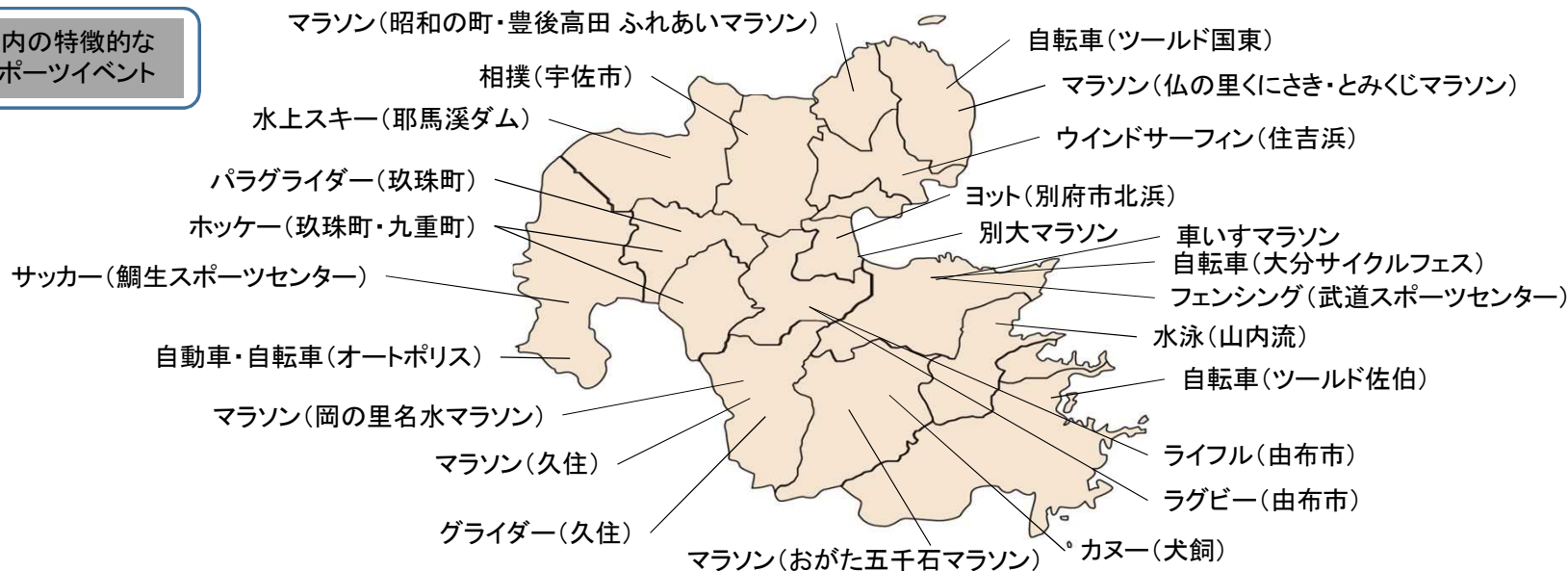
「未来」を  
創る！

一億総スポーツ社会の実現

## スポーツによる地域の活性化

スポーツツーリズムの推進に  
取り組み、地域経済の活性化や  
若者の定着など、地域の元気  
づくりに繋げ、地方創生を推し  
進める。

### 県内の特徴的な スポーツイベント



スポーツ合宿の年度別受入数

年度	チーム数	参加人数
28	1,473	58,908
29	1,553	55,503
30	1,379	60,386

# スポーツツーリズムの推進(案)

## 1 国際スポーツ大会等の誘致 スポーツ合宿、キャンプの誘致

国際スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を官民が連携して一体的に実施する。

### 《取組》

#### ①スポーツコミッションの設立

スポーツによる地域振興を目指し、県、市町村、民間企業、経済団体、競技団体等からなる官民一体型の組織を設置し、ワンストップ窓口機能を担うほか、マッチング、誘致活動を実施する。

#### ②スポーツコミッションによる官民一体の誘致活動

国際スポーツ大会や事前キャンプ、大学、企業、プロスポーツチーム等の合宿誘致活動を実施する。

#### ③スポーツ施設改修への助成

合宿誘致のためにスポーツ施設の改修を行う市町村へ助成し、地域の特性を活かした誘致が可能となるよう、スポーツ施設に磨きをかける。

#### ④情報発信

県下のスポーツ施設、宿泊施設、観光情報等を一体的に発信する。



## 2 アーバンスポーツの普及と 大分スポーツ公園の賑わいづくり

若者に人気でオリンピックの新たな競技となったアーバンスポーツの普及と振興に取り組むとともに、アーバンスポーツを利用して大分スポーツ公園の魅力度を向上させ、賑わいづくりを行ない、県内外からの新たな観戦客、利用者を引き込む。

### 《取組》

#### ①魅力発信のためのイベント開催

アーバンスポーツのイベントを大分スポーツ公園で開催

(内容)・初心者を対象とした体験会  
・トップアスリートによるパフォーマンス 等

#### ②普及に繋がるイベント開催

アーバンスポーツをやってみたい人対象に教室や練習試合等を開催

3×3バスケットボール



BMX



スケートボード



## 3 プロスポーツの振興

プロスポーツを見る楽しみを喚起し、県内外からの観戦客の増加を図るとともに、スポーツ産業の活性化に繋げる。

### 《取組》

#### ①観客の増加に向けた取組み

- 県民DAYの開催
  - ・児童・生徒の観戦招待
  - ・市町村のPRブース設置
  - 選手によるサイン会
- プロスポーツチームのPR動画放映(昭和電工ドーム)
- ストリート系スポーツイベントの開催

#### ②選手とのふれあいの場づくり

学校や地域のイベントに選手を派遣し、子どもや住民との交流を促進

# 昭和電工武道スポーツセンター

Ⅰ 利用状況 (R元年6月(供用開始)~12月末) 181日(平日:112日 / 休日:69日)

施設名	種目	利用者数	(平日)	(休日)
(多 団 体 的 利 用 場)	バレーボール	9,874	5,994	3,880
	バドミントン	790	90	700
	卓球	3,504	2,504	1,000
	バスケットボール	10,210	8,990	1,220
	ハンドボール	800	400	400
	フットサル	1,080	30	1,050
	テニス	0	0	0
	ソフトテニス	0	0	0
	柔道	3,700	0	3,700
	剣道	14,457	1,715	12,742
大会 & 練習	空手道	516	16	500
	障がい者スポーツ	4,690	4,690	0
	その他	31,512	16,242	15,270
	小計	① 81,133	40,671	40,462

施設名	種目	利用者数	(平日)	(休日)	
(団 体 利 用 場)	柔道	11,350	6,285	5,065	
	剣道	9,968	866	9,102	
	弓道	0	0	0	
	相撲	500	500	0	
	なぎなた	2,235	155	2,080	
	銃剣道	550	250	300	
	空手道	2,132	732	1,400	
	少林寺拳法	1,810	970	840	
	合気道	0	0	0	
	障がい者スポーツ	0	0	0	
	その他	1,255	800	455	
	大会 & 練習	小計	② 29,800	10,558	19,242



☆：主催事業  
●：共催(開館記念)事業  
○：貸館事業

施設名	種目	利用者数
個 人 利 用	卓球	200
	バドミントン	371
	柔道	15
	剣道	39
	弓道	0
	相撲	0
	なぎなた	0
	銃剣道	0
	空手道	6
	少林寺拳法	0
	合気道	0
	その他	11
	小計	③ 642

施設名	利用者数
トレーニングルーム	18,819
貴賓室	152
放送室	93
会議室	5,324
選手用更衣室	960
師範室	381
自主事業	249
小計	④ 25,978

## 主な大会等の実績

- 4~5月 ☆ GW県民開放イベント (約20,700人)
- 6月 ● 宗麟旗争奪全国少年剣道大会 (約4,200人)
- アジアドリームカップ 車いすアジアドリームカップ 2019 (約4,200人)
- マルちゃん杯九州少年柔道大会 (約3,500人)
- 7月 ○ 全九州高等学校総合体育大会フェンシング競技 (約2,050人)
- 8月 ● 全国道場小学生剣道記念大会 (約3,500人)
- 全日本卓球選手権大会(カゲツ)県予選会 (約2,500人)
- 12月 ○ 大相撲大分場所 (約2,660人)

①+②+③+④ = 137,553人

6月以前の利用者 = 27,812人  
(GWイベント・県民体育大会等)

165,365人

(竣工~12月末までの利用者数)

RO1年度目標利用者数

164,000人

目標達成

# 昭和電工武道スポーツセンター【多目的競技場】

## ○大会利用の状況

競技		大会数
バレーボール	平日	4
	休日	4
	小計	8
バドミントン	平日	0
	休日	3
	小計	3
卓球	平日	1
	休日	1
	小計	2
バスケットボール	平日	5
	休日	1
	小計	6
ハンドボール	平日	1
	休日	1
	小計	2
フットサル	平日	1
	休日	2
	小計	3
テニス	平日	0
	休日	0
	小計	0
ソフトテニス	平日	0
	休日	0
	小計	0
柔道	平日	0
	休日	2
	小計	2
剣道	平日	5
	休日	13
	小計	18
空手道	平日	0
	休日	1
	小計	1
障がい者スポーツ	平日	2
	休日	0
	小計	2
その他	平日	15
	休日	12
	小計	27
小計	平日	34
	休日	40
	小計	74

競技		利用者数	人/1回	(うち成人)	(うち小中高)
バレーボール	平日	5,740	(1,435人/回)	3,970	1,770
	休日	3,450	(863人/回)	1,570	1,880
	小計	9,190	(1,149人/回)	5,540	3,650
バドミントン	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	700	(233人/回)	300	400
	小計	700	(233人/回)	300	400
卓球	平日	2,500	(2,500人/回)	1,500	1,000
	休日	1,000	(1,000人/回)	600	400
	小計	3,500	(1,750人/回)	2,100	1,400
バスケットボール	平日	7,800	(1,560人/回)	4,600	3,200
	休日	1,000	(1,000人/回)	400	600
	小計	8,800	(1,467人/回)	5,000	3,800
ハンドボール	平日	400	(400人/回)	250	150
	休日	400	(400人/回)	250	150
	小計	800	(400人/回)	500	300
フットサル	平日	30	(30人/回)	30	0
	休日	1,050	(525人/回)	930	120
	小計	1,080	(360人/回)	960	120
テニス	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	0	(0人/回)	0	0
ソフトテニス	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	0	(0人/回)	0	0
柔道	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	3,700	(1,850人/回)	2,550	1,150
	小計	3,700	(1,850人/回)	2,550	1,150
剣道	平日	1,715	(343人/回)	565	1,150
	休日	12,742	(980人/回)	6,422	6,320
	小計	14,457	(803人/回)	6,987	7,470
空手道	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	500	(500人/回)	100	400
	小計	500	(500人/回)	100	400
障がい者スポーツ	平日	4,200	(2,100人/回)	3,100	1,100
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	4,200	(2,100人/回)	3,100	1,100
その他	平日	5,040	(336人/回)	3,645	1,395
	休日	4,840	(403人/回)	3,241	1,599
	小計	9,880	(366人/回)	6,886	2,994
小計	平日	27,425	(807人/回)	17,660	9,765
	休日	29,382	(735人/回)	16,363	13,019
	小計	56,807	(768人/回)	34,023	22,784

# 昭和電工武道スポーツセンター【武道場】

## ○大会利用の状況

競技		団体数
柔道	平日	10
	休日	20
	小計	30
剣道	平日	2
	休日	35
	小計	37
弓道	平日	0
	休日	0
	小計	0
相撲	平日	4
	休日	0
	小計	4
なぎなた	平日	2
	休日	6
	小計	8
銃剣道	平日	3
	休日	2
	小計	5
空手道	平日	0
	休日	2
	小計	2
少林寺拳法	平日	6
	休日	3
	小計	9
合気道	平日	0
	休日	0
	小計	0
障がい者スポーツ	平日	0
	休日	0
	小計	0
その他	平日	4
	休日	3
	小計	7
小計	平日	31
	休日	71
	小計	102

競技		利用者数	人/1回	(うち成人)	(うち小中高)
柔道	平日	6,190	(619人/回)	2,450	3,740
	休日	4,650	(233人/回)	2,335	2,315
	小計	10,840	(361人/回)	4,785	6,055
剣道	平日	525	(263人/回)	179	346
	休日	8,725	(249人/回)	3,290	5,435
	小計	9,250	(250人/回)	3,469	5,781
弓道	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	0	(0人/回)	0	0
相撲	平日	500	(125人/回)	500	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	500	(125人/回)	500	0
なぎなた	平日	60	(30人/回)	0	60
	休日	1,800	(300人/回)	900	900
	小計	1,860	(233人/回)	900	960
銃剣道	平日	170	(57人/回)	90	80
	休日	300	(150人/回)	300	0
	小計	470	(94人/回)	390	80
空手道	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	1,400	(700人/回)	700	700
	小計	1,400	(700人/回)	700	700
少林寺拳法	平日	970	(162人/回)	970	0
	休日	840	(280人/回)	420	420
	小計	1,810	(201人/回)	1,390	420
合気道	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	0	(0人/回)	0	0
障がい者スポーツ	平日	0	(0人/回)	0	0
	休日	0	(0人/回)	0	0
	小計	0	(0人/回)	0	0
その他	平日	460	(115人/回)	420	40
	休日	450	(150人/回)	50	400
	小計	910	(130人/回)	470	440
小計	平日	8,875	(286人/回)	4,609	4,266
	休日	18,165	(256人/回)	7,995	10,170
	小計	27,040	(265人/回)	12,604	14,436



# 昭和電工武道スポーツセンター

## ○個人利用の状況

	種目	利用者数
個人利用	卓球	200人
	バドミントン	371人
	柔道	15人
	剣道	39人
	空手	6人
	その他	11人
	小計	642人

	種目	利用者数	備考
平日	卓球	150人	4.4人/日
	バドミントン	293人	
	柔道	11人	
	剣道	27人	
	空手	5人	
	その他	8人	
	小計	494人	

	種目	利用者数	備考
休日	卓球	50人	2.1人/日
	バドミントン	78人	
	柔道	4人	
	剣道	12人	
	空手	1人	
	その他	3人	
	小計	148人	

## ○トレーニングルームの利用状況

	利用者数	備考
平日	12,634人	113人/日
休日	6,185人	90人/日
計	18,819人	104人/日

	うち成人	(割合)	うち中高生等	(割合)	うち障がい者	(割合)
平日	11,309人	(89.5%)	749人	(5.9%)	576人	(4.6%)
休日	5,485人	(88.7%)	444人	(7.2%)	256人	(4.1%)
計	16,794人		1,193人		832人	

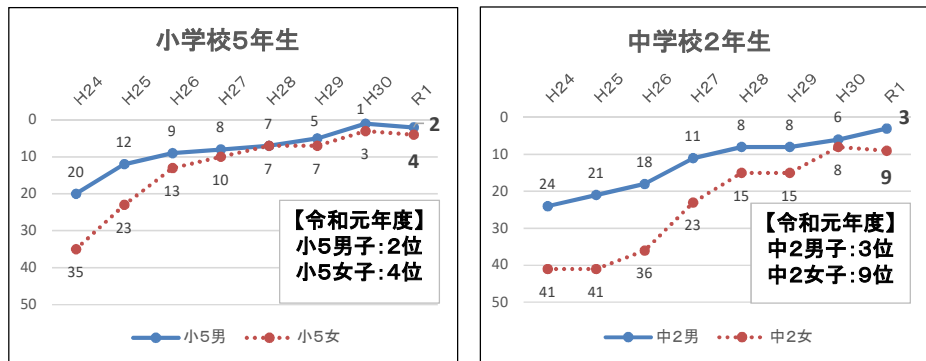
## 2 ネーミングライツにかかるパートナーシップ事業

- (1) 目的：大分スポーツ公園内の総合競技場等を中心としたスポーツ活動や芸術文化活動、市民活動等への支援を推進する。
- (2) パートナー：昭和電工株式会社
- (3) 期間：平成31年3月1日から令和6年2月29日まで
- (4) 協定額：年間50,000千円（税抜き）
- (5) 実施例：①県民体育大会、障スポ大会合同開会式の開催経費支援  
 ②GW県民開放イベントの開催経費支援  
 ③大分三好ヴァイセアドラー公式戦への無料招待

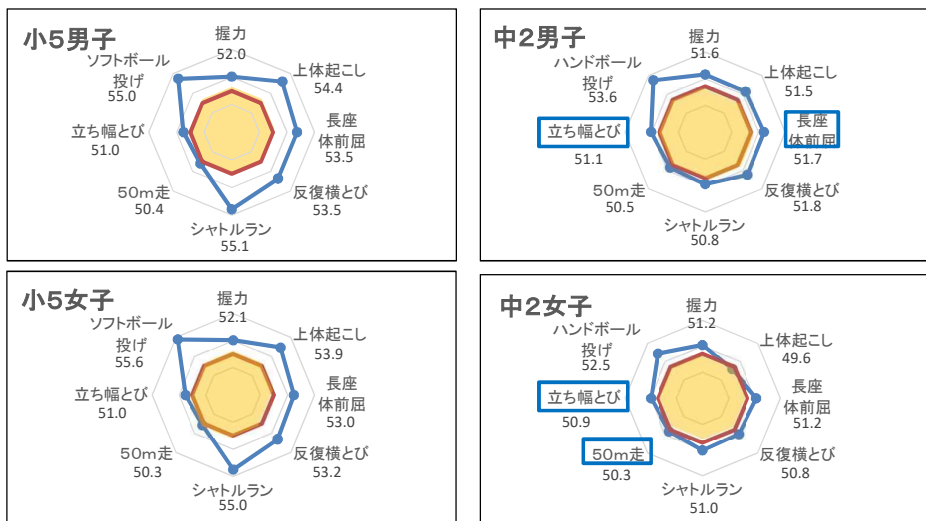
# 令和元度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

□実施期間 令和元年4月～7月末  
 □調査対象 小学校5年生、中学校2年生  
 □調査事項 ①児童生徒に対する調査:実技8種目及び質問紙調査 ②学校に対する質問紙調査

## 1. 体力合計点による全国順位



## 2. 実技調査項目ごとの平均値(全国平均を50とした場合との比較) □ は、過去最高値

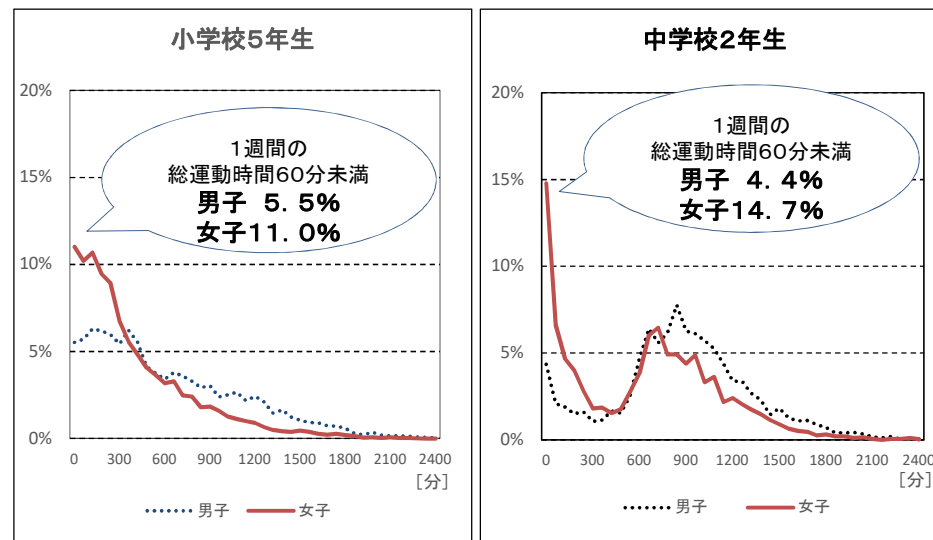


【小学生】  
 ・男女ともに、全ての項目で、全国平均を上回った。

【中学生】  
 ・女子の上体起こしを除く項目で、全国平均を上回った。  
 ・8項目中、男女ともに、2項目で過去最高であった。

## 3. 1週間の総運動時間の分布

1週間のうち、体育の授業以外で、運動(身体を動かす遊びを含む)やスポーツをどの位していますか。



## 4. 運動やスポーツに対する愛好度

運動やスポーツをすることが好きですかという問いに、「好き」「やや好き」と回答した児童生徒の割合(%)

校種	区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小5男子	大分県	91.3	95.0	94.3	93.3	92.8	93.3	93.8
	全国	91.0	94.2	93.9	93.4	93.3	93.0	93.3
小5女子	大分県	79.0	87.5	87.3	87.7	85.5	85.5	86.0
	全国	81.2	87.6	88.0	87.7	87.3	86.4	87.6
中2男子	大分県	88.9	92.8	91.7	91.1	90.7	91.1	91.3
	全国	86.6	90.7	89.6	89.0	89.0	88.8	89.4
中2女子	大分県	72.0	81.4	79.8	79.5	80.3	80.6	80.9
	全国	72.7	79.3	79.2	78.4	78.6	78.9	79.2

※ □ は、過去最高値

# 令和元年度 学校部活動充実支援事業

## <運動部活動実施上の問題点>

- ①教職員の超過勤務 ②生徒への過度な負担 ③少子化の進展により従前同様の運営体制では維持が困難

## <運動部活動の在り方に関する動向>

- スポーツ庁：「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月）が策定。
  - ・生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するという観点に立ち、地域や学校の実態に応じて、運動部活動が多様な形で実施されることを目指す。
- 県教委：「大分県の運動部活動の在り方に関する方針」を策定。（平成30年8月22日）
  - 市町村や学校法人：「設置する学校に係る運動部活動の方針」を策定。（平成30年12月末までに策定するよう指導）
- 各学校：「学校の運動部活動の活動方針」を作成し、この方針に基づき、各運動部が活動を開始。（平成31年4月1日）

## <県方針の主な内容>

- ①適切な運営のための体制整備 ②合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進 ③適切な休養日・活動時間の設定 ④生徒のニーズに応じたスポーツ環境の整備 ⑤学校単位で参加する大会等の見直し

## 方針に基づく令和元年度の取組

①	方針の実効性等に関する調査研究	<b>【課題】</b> ・県の方針の実効性の検証作業	<b>【取組】</b> ・県の方針運用に対する意識や満足度、波及効果等を調査・分析し方針の実効性の検証を行う。
②	スポーツ医・科学の知見等を活用した学校部活動の充実支援	<b>【課題】</b> ・過度の活動は正やスポーツ障害の予防 ・科学的トレーニング導入による効率的・効果的な活動の普及 ・女子成長期におけるスポーツ活動の在り方	<b>【取組】</b> ・スポーツ医・科学の知見活用による指導の普及に向け、専門家(ドクター等)を学校に派遣する。 ・合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進を図るため、種目毎や支部等での研修会を開催するための費用の補助を行う。 ・短時間の練習で好成績を挙げている高校のノウハウを共有し、各学校での効率的・効果的な練習への転換を促進するため、生徒主体による研修会「部活動サミット」を開催する。
③	部活動指導員の活用による教職員の負担軽減	<b>【課題】</b> ・部活動に係る教職員の長時間労働の是正と専門外種目の指導による負担の軽減  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">部活動指導員の身分等</div>	<b>【取組】</b> ・市町村での部活動指導員の活用を拡充し、教職員の負担軽減と部活動の質的向上を図る。 <活用予定>H30:10市町、56人(28校)→R1:16市町、92人(46校) <活用実績>H30:10市町、42人(29校)→R1:15市町、74人(53校)[R1.12月末現在] ・県立学校における部活動指導員の活用について実践研究を行う。 県立中学校(新規)1名、県立高校(継続)8名(3校) ・部活動指導員や外部指導者を対象とした研修会の開催
		1 身分 非常勤の職(市町村教委・県教委が設置要綱、取扱い要綱を制定し、任用) 2 配置者 学校教育を理解し生徒の心身の発育・発達などに十分配慮しながら、部活動の意義を大切に指導を行うことができる者 3 職務内容 部活動の指導、大会・練習試合の引率・指導・監督(単独可) 4 活用時間 年間210時間(原則:週3日×2時間・月24時間程度) 5 報酬 年額336,000円(@1,600円×210時間)	
④	新たな運動部活動モデルの創出による充実支援	<b>【課題】</b> ・少子化に伴う部員減少により単独校での部活動運営が困難 ・総合型地域スポーツクラブと学校との連携が進行していない現状 ・生徒の多様なニーズを踏まえたスポーツ環境の創出や二極化の状況	<b>【取組】</b> ・生徒のスポーツ活動の機会が損なわれないよう、複数校の生徒が拠点となる学校の運動部活動に参加できる「拠点校方式の部活動」を設置する。 ・学校と総合型地域スポーツクラブとの連携・協働による部活動の運営体制や学校部活動の一部を総合型地域スポーツクラブに移行する在り方について実践研究を行う。

# 総合型地域スポーツクラブの現状

## 1 設立順 県内総合型地域スポーツクラブ一覧

No.	クラブ名	設立年月日	所在地
1	みえスポーツクラブ	H15. 3. 28	豊後大野市三重町百枝1086-35
2	おがたいいききスポーツクラブNest	H16. 3. 28	豊後大野市緒方町下自在257番地1
3	NPO法人七瀬の里Nクラブ	H16. 4. 29	大分市大字野津原397番地
4	NPO法人MAKK笑人クラブ	H16. 5. 28	国東市国見町岐部536番地
5	NPO法人総合型地域スポーツクラブグレートサラマンダー	H17. 5. 7	宇佐市内町原口146-1
6	童里夢スポーツクラブ	H17. 5. 26	玖珠町四日市398-1
7	みなみスポーツクラブ	H17. 7. 1	佐伯市大字青山5743-2
8	NPO法人エンジョイツクミ	H18. 3. 27	津久見市千怒5383番地
9	NPO法人TMKチャレンジクラブ	H18. 3. 29	豊後高田市西真玉6636番地
10	つるみ友クラブ	H18. 10. 11	佐伯市鶴見大字松浦2044-1
11	竹田スポーツレクリエーションクラブ	H19. 3. 14	竹田市大字竹田1320番地
12	ひしのみクラブ	H19. 3. 25	大分市上野町4-5
13	あまがせスポーツクラブ	H19. 3. 27	日田市天瀬町桜竹80-1
14	NPO法人川添なのはなクラブ	H19. 3. 31	大分市大字宮河内4547-1
15	NPO法人わいわい夢クラブ	H19. 4. 28	大分市萩原2丁目10-7
16	本匠ホタツピククラブ	H20. 3. 5	佐伯市本匠大字津々2001番地
17	にこしんクラブ	H20. 3. 9	別府市光町1-5
18	ここのえ“夢”クラブ	H20. 3. 16	九重町大字後野上17-4
19	NPO法人賀来衆倶楽部	H20. 3. 23	大分市大字中尾字門田501番地11
20	NPO法人おおみちふれあいクラブ	H20. 3. 30	大分市田室3番37号(石野さん方)
21	NPO法人洞門元気クラブ	H22. 3. 7	中津市本耶馬溪町曾木1800番地
22	田野ふれあいクラブ	H22. 3. 14	臼杵市野津町大字亀甲4010番地
23	NPO法人OKYさわやかスポーツクラブ	H22. 3. 20	杵築市山香町大字野原700番地5
24	NPO法人ゆふいんチャレンジクラブ	H22. 3. 22	由布市湯布院町川北1205番地
25	みことスマイルインクラブ	H22. 3. 22	由布市庄内町大滝2131
26	下ノ江よろうちクラブ	H23. 3. 12	臼杵市大字田井989番地
27	日出町総合型地域スポーツクラブひまわりのたね	H23. 3. 20	速見郡日出町川崎3777-1(川崎体育館)
28	OZAI元気クラブ	H23. 3. 26	大分市横田1-17-40第1芙蓉荘107
29	みんなの明治クラブ	H23. 3. 26	大分市大字猪野22-1
30	明ゆうクラブ	H23. 3. 26	大分市明野東1-1-1 アクロスタウン1番街2Fコミュニティールーム
31	姫島ふれあいスポーツクラブ	H23. 4. 8	姫島村1681-2姫島村教委生涯学習課
32	あさみ川クラブ	H24. 2. 26	別府市柳2組
33	ほくぶスポーツクラブ	H24. 3. 11	別府市亀川四の湯町17-15
34	西の台あいあい倶楽部	H24. 3. 24	大分市春日町1-3-18(園田京子さん方)
35	南立エンジョイ倶楽部	H24. 3. 25	別府市南立石1区3組4プレジデントコーポ507
36	わさだ夢クラブ	H24. 11. 1	大分市玉沢103番地
37	NPO法人朝地フレンドクラブ	H25. 2. 23	豊後大野市朝地町坪泉494
38	判田すこやか倶楽部	H25. 3. 16	大分市判田台北1丁目1-1
39	大平山湯の街クラブ	H25. 3. 17	別府市竹の内5-2
40	NPO法人滝尾百穴クラブ	H26. 3. 2	大分市下郡南4-4-62
41	スポーツクラブHASAMA	H26. 3. 23	由布市挾間町向原17番地2
42	総合型地域スポーツクラブわっしょいUSAクラブ	H26. 3. 30	宇佐市高森1382
43	総合型地域スポーツクラブ「佐賀関うみねこクラブ」	H29. 3. 23	大分市本神崎911-2
44	東植田地域総合型地域スポーツクラブ「クローバークラブ」	H29. 4. 1	大分市旦野原880-79

## 2 市町村別総合型地域スポーツクラブ設置数

No.	市町村名	設置数	活動拠点
1	大分市	15	■野津原 ■上野ヶ丘・碩田学園校区 ■川添校区 ■東大分校 ■賀来校区 ■大進校区 ■大在校 ■明治校区 ■明野校区 ■西の台校区 ■植田校区 ■判田校区 ■滝尾地区 ■佐賀関地区 ■東植田地区
2	別府市	5	■西小学校区 ■南部地区 ■北部地区 ■西部地区 ■大平山地区
3	中津市	1	■耶馬溪町
4	日田市	1	■天瀬地区
5	佐伯市	3	■南中学校区 ■鶴見地区 ■本匠地区
6	臼杵市	2	■野津町田野地区 ■下ノ江地区
7	津久見市	1	■千怒地区
8	竹田市	1	■旧竹田市
9	豊後高田市	1	■西真玉地区
10	杵築市	1	■山香町
11	宇佐市	2	■旧宇佐市 ■院内町
12	豊後大野市	3	■三重町 ■緒方町 ■朝地町
13	由布市	3	■挾間町 ■庄内町 ■湯布院町
14	国東市	1	■国見地区
15	姫島村	1	■姫島村全域
16	日出町	1	■日出町全域
17	玖珠町	1	■玖珠町全域
18	九重町	1	■九重町全域
合計数		44	

## 3 年度別総合型地域スポーツクラブ設立数

年数	年度	クラブ数	市町村別設立数
1	平成14年度	1	■豊後大野市(1)
2	平成15年度	1	■豊後大野市(1)
3	平成16年度	2	■大分市(1) ■国東市(1)
4	平成17年度	5	■宇佐市(1) ■玖珠町(1) ■佐伯市(1) ■津久見市(1) ■豊後高田市(1)
5	平成18年度	5	■佐伯市(1) ■竹田市(1) ■大分市(2) ■日田市(1)
6	平成19年度	6	■大分市(3) ■佐伯市(1) ■別府市(1) ■九重町(1)
7	平成20年度	0	
8	平成21年度	5	■中津市(1) ■臼杵市(1) ■杵築市(1) ■由布市(2)
9	平成22年度	5	■日出町(1) ■臼杵市(1) ■大分市(3)
10	平成23年度	5	■別府市(2) ■大分市(2) ■姫島村(1)
11	平成24年度	4	■大分市(2) ■豊後大野市(1) ■別府市(1)
12	平成25年度	3	■大分市(1) ■宇佐市(1) ■由布市(1)
13	平成26年度	0	
14	平成27年度	0	
15	平成28年度	1	■大分市(1)
16	平成29年度	1	■大分市(1)
17	平成30年度	0	
総数		44	



#### 4 県内総合型地域スポーツクラブの概況（H26とH30の比較）

年 度		平成26年度				平成30年度				増減			
設立済みクラブ数		42				44				2			
法人格を取得しているクラブ数		13				15				2			
指定管理者となっているクラブ数		2				3				1			
委託事業を受けているクラブ数		16				23				7			
会員数（人）	総 数	16,090				17,509				1,419			
	区 分	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	未就学児	253	1.6%	204	1.3%	237	1.4%	200	1.1%	-16	-0.2%	-4	-0.1%
	小学生	1,499	9.3%	1,211	7.5%	1,731	9.9%	1,548	8.8%	232	0.6%	337	1.3%
	中学生	515	3.2%	252	1.6%	515	2.9%	403	2.3%	0	-0.3%	151	0.7%
	高校生	264	1.6%	177	1.1%	175	1.0%	142	0.8%	-89	-0.6%	-35	-0.3%
	～29歳	675	4.2%	522	3.2%	564	3.2%	429	2.5%	-111	-1.0%	-93	-0.8%
	～39歳	740	4.6%	725	4.5%	711	4.1%	649	3.7%	-29	-0.5%	-76	-0.8%
	～49歳	605	3.8%	810	5.0%	730	4.2%	845	4.8%	125	0.4%	35	-0.2%
	～59歳	819	5.1%	1,155	7.2%	745	4.3%	1,059	6.0%	-74	-0.8%	-96	-1.1%
	～69歳	1,345	8.4%	1,779	11.1%	1,452	8.3%	1,987	11.3%	107	-0.1%	208	0.3%
70歳～	977	6.1%	1,563	9.7%	1,341	7.7%	2,046	11.7%	364	1.6%	483	2.0%	
合 計	7,692	47.8%	8,398	52.2%	8,201	46.8%	9,308	53.2%	509	-1.0%	910	1.0%	
1クラブ平均会員数（人）		383.0				397.9				14.9			
活動地域総人口（人）		642,517				648,137				5,620			
会員率（会員/地域人口）		2.5%				2.7%				0.2%			
成人会員一人当たりの年会費		3,230		(269/月)		3,858		(321/月)		628		(52/月)	
定期的な活動種目総数		565				559				-6			
（1クラブ平均）		13.4				13				-0.4			
イベント総数		349				375				26			
（1クラブ平均）		8.3				9				0.7			
文化的な活動教室総数		43				43				0			
（文化的な活動実施クラブ数）		19				18				-1			
クラブ内指導者総数（人）		684				592				-92			
（1クラブ平均）		16.3				13.5				-2.8			
年間活動費（円）	総額（収入）	282,245,021				247,450,199				-34,794,822			
	会費	50,867,400				64,332,072				13,464,672			
	事業費	25,335,100				33,583,608				8,248,508			
	委託費	49,628,050				80,327,194				30,699,144			
	補助・助成金	116,558,394				35,939,109				-80,619,285			
	寄付金	4,878,000				2,738,000				-2,140,000			
	その他	34,978,077				30,530,216				-4,447,861			
	自己財源率	58.7%				85.5%				26.8%			
年間活動費1クラブ平均額（円）		6,720,120				5,623,868				-1,096,252			

- 会員に占めるビジネスパーソンは低く、直近4年間でも減少している（ただし、40台では若干増加している）
- クラブ設置エリアにおける総合型加入率は、4年間で0.2%上昇（県人口113.6万人の加入率は1.5%）
- H30における総合型地域スポーツクラブの活動エリアは、全県下の5.7%（人口換算）
- 総合型地域スポーツクラブの自己財源率は85.5%で、この4年間で26.8P程度上昇

## 5 県内クラブ別の会員数分布状況

会員数	H26		H30		増減	
	該当クラブ	割合	該当クラブ	割合	該当クラブ	割合
～ 99人	8	19.0%	6	13.6%	-2	-5.4%
100人～ 199人	16	38.1%	16	36.4%	0	-1.7%
200人～ 299人	9	21.4%	10	22.7%	1	1.3%
300人～ 399人	<b>4</b>	<b>9.5%</b>	<b>6</b>	<b>13.6%</b>	2	4.1%
400人～ 499人	1	2.4%	2	4.5%	1	2.2%
500人～ 599人	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%
600人～ 699人	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%
700人～ 799人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800人～ 899人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900人～ 999人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
~~~~~						
1500人～ 1599人	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%
~~~~~						
6300人～ 6399人	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%
合計	42	100.0%	44	100.0%	2	0.0%

項目	H26		H30		増減	
平均値	383		398		15	
中央値	184		205		21	
平均以下のクラブ	36	85.7%	38	86.4%	2	0.7%

- 各クラブの会員数は、わずかではあるが増加傾向にある。
- 依然、会員数が平均以下のクラブは85%を超えており、小規模クラブの会員数拡大に向けた取組が必要  
(特に会員数100人以下のクラブについては喫緊の課題)



## 6 各クラブの年間収入規模分布

予算規模	H26		H30		増減		予算規模	H26		H30		増減	
	クラブ数	割合	クラブ数	割合	クラブ数	割合		クラブ数	割合	クラブ数	割合	クラブ数	割合
～ 99万円	5	11.9%	10	22.7%	5	10.8%	2000万円～2099万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100万円～199万円	13	31.0%	9	20.5%	-4	-10.5%	2100万円～2199万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
200万円～299万円	6	14.3%	9	20.5%	3	6.2%	2200万円～2299万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
300万円～399万円	1	2.4%	2	4.5%	1	2.2%	2300万円～2399万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%
400万円～499万円	2	4.8%	1	2.3%	-1	-2.5%	2400万円～2499万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
500万円～599万円	3	7.1%	1	2.3%	-2	-4.9%	2500万円～2599万円	1	2.4%	0	0.0%	-1	-2.4%
600万円～699万円	<b>2</b>	<b>4.8%</b>	0	0.0%	-2	-4.8%	2600万円～2699万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
700万円～799万円	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%	2700万円～2799万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円～899万円	1	2.4%	1	2.3%	0	-0.1%	2800万円～2899万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円～999万円	2	4.8%	1	2.3%	-1	-2.5%	2900万円～2999万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%
1000万円～1099万円	1	2.4%	2	4.5%	1	2.2%	3000万円～3099万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1100万円～1199万円	1	2.4%	0	0.0%	-1	-2.4%	3100万円～3199万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1200万円～1299万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%	3200万円～3299万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1300万円～1399万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%	3300万円～3399万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%
1400万円～1499万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%					0		
1500万円～1599万円	1	2.4%	0	0.0%	-1	-2.4%	8300万円～8400万円	1	2.4%	0	0.0%	-1	-2.4%
1600万円～1699万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	合計	42	100.0%	44	2.1%	0	0.0%
1700万円～1799万円	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%							
1800万円～1899万円	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%							
1900万円～1999万円	1	2.4%	0	0.0%	-1	-2.4%							

- toto助成切れ等により、クラブの平均収入は110万円減少。
- 中央値は、11.7万円下がった。
- 依然、70%以上のクラブが平均以下。
- 自立に向けた財源の確保が必要。

項目	H26	H30	増減
平均値	6,720,120	5,623,868	-1,096,252
中央値	2,551,567	2,434,004	-117,563
平均以下のクラブ	32 76.2%	32 72.7%	0 -3.5%

## 7 総合型クラブにおける指導者

### (1) クラブ別指導者の配置状況

指導者数	クラブ数
0人	2
1人 ~ 5人	9 クラブ
6人 ~ 10人	13 クラブ
11人 ~ 15人	8 クラブ
16人 ~ 20人	4 クラブ
21人 ~ 25人	1 クラブ
26人 ~ 30人	2 クラブ
31人 ~ 35人	1 クラブ
36人 ~ 40人	1 クラブ
41人 ~ 45人	3 クラブ
合計	44 クラブ
指導者総数	592 人
平均	13.5 人
中央値	10 人

### (2) 指導者の資格保有状況

区分	人数	割合
有資格	312 人	52.7%
無資格	280 人	47.3%
総数	592 人	100.0%

### (3) 保有資格の内訳

区分	人数	割合
日本スポーツ協会	161 人	51.6%
日本障がい者スポーツ協会	10 人	3.2%
その他	141 人	45.2%
総数	312 人	100.0%

- 指導者の内、資格を保有する者の割合は5割程度。
- 資格保有者に占める日本スポーツ協会の公認指導者資格保有者は51.6%。

